つながりあって、子どもの健康を守り育てる

ぶんぶん椿塾
山口市立上郷小学校 養護教諭 原田 紹子

1 目的

「ぶんぶん椿塾」は平成25年度に発足した萩市内の小中学校に勤める経験年数の浅い養護教諭が集まるサークルである。本サークル名には『ミツバチのように、萩に集まった養護教諭が研修で得た知識を各学校へ持ち帰り、子どもたちに還元したい』という想いも込められている。発足から9年が経ち、萩市内外の若手から中堅まで、幅広く養護教諭が集まるアットホームなサークルとなり、一人職が多い養護教諭の心のよりどころにもなっている。今年度は、養護教諭のスキルアップを目指し、先輩教諭や他校種の養護教諭を講師に招き、研修を深めることとした。

2 活動の概要

（1） 講演会

① 講師 萩市立阿武小学校 中村 仁美先生

演題「栄養教諭のお仕事、食育、養護教諭との連携について」

令和2年7月17日 萩市立阿武小学校にて栄養教諭の中村 仁美先生を講師に迎え、阿武小学校での食育指導の取組や、栄養教諭と養護教諭の連携についてお話いただいた。栄養教諭と養護教諭はお互いに専門職であり、食物アレルギーや食中毒の対応をする際は、迅速な対応を求められる。中村先生より、日頃から校内でどのような連携を取っているのかを詳しく聞くことができ、自校での取組の参考となった。また、中村先生の食育の取組を実際に体験することもでき、子どもに寄り添った食育活動についても学ぶことができた。

② 講師 学校薬剤師 河村 朋美先生

演題「教室の換気と窓ドアの開放量簡易判定ツールの活用」

令和2年7月 17日 学校薬剤師 河村 朋美先生を講師に招き、新型コロナウイルス感染症対応のために重要な「換気」についてお話いただいた。学校薬剤師として長年学校環境衛生に携わっている河村先生ならではの視点で分かりやすくお話いただき、よりよく換気するためのポイントや、学校全体で取り組むために大切なことを学んだ。

③ 講師 山口県立西京高校 養護教諭 徳永 和泉先生

演題「つながりあい 学びあい 高めあい ～描いてみようキャリアデザイン～」

令和2年10月9日 山口県立西京高校 養護教諭 徳永 和泉先生を講師に招き、養護教諭のキャリアデザインについてお話をいただいた。参加者は、初任者研修や、中堅養護教諭研修でキャリアビジョンについて考える機会はあったが、キャ

リアデザインについては初めて聞くことが多く、今回の講演で、自分の養護教諭としてのスキル、研修、人生のライフプラン全てを含めてどう在りたいかを考える貴重な機会となった。

④ 講師 山口県立萩商工高校 養護教諭 中島 利江先生
演題「高校の養護教諭について ～小・中・高連携をめざして～」
令和4年1月15日 山口県立萩商工高校 養護教諭 中島 利江先生を講師に招き、高校の養護教諭の職務や、小学校から高校までの12年間を見通した健康教育についてお話いただいた。参加者は、小学校、中学校の勤務経験はあるが、高校で勤務したことがない者が多く、今回の講演では、参加者全員が高校進学後の子どもの様子を想像することができ、自身の健康教育が、12年間の成長を見通した健康教育になっているかを考え、振り返る貴重な時間となった。

（2） 定例学習会

毎月第２土曜日の9:00～12:00とし、年間計画をもとに実施した。

開催日	研修内容
5月15日（土）	肥満児指導について
6月12日（土）	長期研修制度について
7月10日（土）	講話「栄養教諭の仕事・食育・養護教諭との連携」 講話「教室の換気と窓ドアの開放量簡易判定ツールの活用」
8月14日（土）	1学期の振り返り・ 異校種 保健室訪問 【新型コロナウィルス感染症流行のため中止】
9月18日（土）	保健委員会活動について
10月9日（土）	講話「つながりあい 学びあい 高めあい ～描いてみようキャリアデザイン～」
11月13日（土）	保健指導・性に関する指導について
12月11日（土）	2学期の振り返り・フラワーアレンジメント
1月15日（土）	講話「高校の養護教諭について ～小・中・高連携をめざして～」
2月12日（土）	保健指導・教材作成 【新型コロナウィルス感染症流行のため中止】
3月5日（土）	本年度の振り返り・来年度の計画

定例学習会では、養護教諭の職務の基本となる研修内容とし、「明日、実践にうつせる学び」をめざし、先輩養護教諭である阿武小学校 吉松 文子先生より指導、助言をいただいた。そして、新規採用養護教諭から中堅養護教諭まで幅広いキャリアステージの養護教諭が参加し、それぞれが職務に携わる際に感じた課題について、参加者同士で話し合い、学びを深めることができ、参加者全員にとって貴重な学びの場となった。

また、本年度は平成29年度に講師としてお招きした女子栄養大学 名誉教授 三木とみ子先生にオンラインでお話をいただく機会にも恵まれた。三木先生の熱い思いを聞くことができ、養護教諭として大切な姿勢や情熱を学ぶことができた。4年経った今でも、一養護教諭としてまた本サークルに係わってくださることが嬉しく、養護教諭同士のつながりの大切さを実感した。

3 研修の成果と今後の課題

一年間を通して、講師の先生方や、先輩養護教諭から養護教諭に必要な知識や教養を学び、充実した研修を行うことができた。また、学校教育会の助成金で購入した指導書を活用した保健指導の研修を行い、養護教諭のスキルアップに役立てることができた。研修を通して、「養護教諭」としての職務や専門性の基本を学ぶとともに、本年度は、さらに専門性を高めるため、それぞれのキャリアステージで抱える課題を共有、意見交換し、参加者のニーズに合った内容の研修を行うことができた。今年度も助成金のおかげで充実した研修を行うことができたことに、深く感謝申し上げる。今後も、参加者の意見をききながら、充実した研修を計画していきたい。

本年度は、参加者の新規採用養護教諭や、市外から参加する養護教諭も多く、参加者同士の交流が活発であった。養護教諭の多くは一人配置であり、新型コロナウイルス感染症への対応など、日々の職務における不安や迷いが多くある状況である。参加者と交流する中で、この「ぶんぶん椿塾」が養護教諭同士の横のつながりを作り、学びや気持ちを共有できる貴重な場となっていることを実感した。本サークルは、萩市外に異動した養護教諭や産休・育休中の養護教諭も、学びたい気持ちがあれば誰でも気軽に参加できることも大きな魅力である。これからも、仲間とともに研鑽し、つながりあって、子どもたちの健康を守り育てていきたい。